



各部局から寄せられた資料カード等

一、学術資料を中心とした部門  
従来から理学部・文学部で構想  
していたもので、植物・岩石など  
の基準標本、古文書・拓本・古地  
図・土器石器などの出土品など。  
二、機器類を中心とした部門  
広島大学の移転にさいして使用  
されなくなった機器類のうち、技  
術的にみて画期を示すもの。近年  
の機器類の更新には、めざましい  
ものがあるが、これらを系統づけ  
た保管や公開がのぞまれる。  
三、開かれた大学としての部門

前記のカードの記入にあたっては、  
文献・資料・機器の分類をおこない、  
ついて名称・収集地・材質・時代・収  
集の経緯・学術的価値特徴・参考文献

調査内容

二、基礎カード(B) 一のなかで重  
要なものもしくは特色のあるもの  
を選定して写真・図などを付した  
詳細カードの作製。

調査項目

基礎的調査としてまずカード類を作  
成し、各学部などを単位とした概数の  
把握ならびに重要なものもしくは特色  
のある資料の把握につとめることとし  
た。

などを明記し、基礎的な利用の可能な  
ように配慮した。

成果の概要

現在のところ、基礎カード(A)約四  
百枚、基礎カード(B)約八百枚が手許  
に集まっており、資料の総点数は、約  
九十万点にのぼっている。いずれのカー  
ドも今後引きつづき補足していただく  
必要があるが、広島大学にある文献・  
資料・機器類の実態は明らかにし得た。  
登録カードからみると、学名などの標  
準資料となるもの、中四国地域の地域  
的特色をもつ一括資料、原爆関係資料、  
海外調査などによって得られた一括資

料など学術資料として重要かつ多岐に  
わたっており、一般に公開して広く参  
考に供することも可能である。

これら文献・資料・機器の保管・活  
用については、東広島市への移転にさ  
いして、集中的に保存する必要のある  
ものならびに、すでに資料館・資料室  
に保管してあるものについては、相互  
の密接な連係がのぞまれる。

本調査研究の基礎カード類は、現在  
文学部に保管しており、広島大学研究  
教育総合資料館設立のための基礎資料  
となるとともに、将来は学内外ならび  
に国際的な共同利用、一般公開のデー  
タとして活用される。

教育学大学院の整備計画に

関する基礎的研究

教育学部	教育学部	教育学部	教育学部	教育学部	教育学部	教育学部	教育学部	教育学部	教育学部
那須	三好	森	小笠原	池端	佐々木	今泉	利島	江端	
俊夫	信浩	楯	道雄	次郎	正治	信人	保	義夫	
教育学部	教育学部	教育学部	教育学部	教育学部	教育学部	教育学部	教育学部	教育学部	教育学部
松本	森分	頼永	寺川	幣原	古田	奥田	清水	渡部	
憲尚	孝治	正孝	智祐	映智	幸子	邦男	凡生	和彦	